



絵本のある場所が 全てSDGsの入り口になりますように 絵本でSDGs推進協会×アトリエペタタ

絵本とアートでSDGs

2021年1月号



「あっ！これってSDGsだ！」 「ねえ、これって防災につながるね！」 そう！身の回りにはSDGsや防災・減災につながるものがたくさんあります。むずかしく考えずに、絵本とアートで日々の生活に取り入れてみませんか？

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



12 つくる責任
つかう責任



暮らし×SDGs

どんな方法でエネルギーを作るか？この問題は今に始まったものではありません。問題が大きすぎて、個人では解決できないことかもしれません。

まずは自分の住む町には「どんな発電所があるのか？」などを知ることから始めてみましょう！

きっとそこから見えてくるものがあるはず。

自分たちの住んでいる地域を知ることがSDGsを考えて行動することの一步となります。



朝日 仁美

絵本でSDGs推進協会代表理事
学校司書 絵本専門士
SDGsforSchool認定エデュケーター

1月のおすすめ絵本



わたしのひかり

作・絵：[モリー・バング](#)
訳：[さくまゆみこ](#)
出版社：[評論社](#)

題名のわたしとは太陽のこと。人々が太陽から与えられているものを考える絵本です。光だけでなく、日々使っているエネルギーもそのひとつ。エネルギーと太陽の関係や何を素にして作っているのかも知ることができます。このエネルギーをどうやって、大事に使っていくか読後に考えてみましょう。

11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



防災×アート

プラスチックごみの問題からも、レジ袋の削減について日々取り組みますが、大切なのは使い方と捨て方です。今あるレジ袋は、災害に備えてしっかりと保管しておいて下さい。

たとえば、[懐中電灯に白いレジ袋をかぶせるだけ](#)で、1点だけを照らす光が、周囲に広がる灯りに変わります。



石橋 幸子

NPO法人アトリエPetata理事長
保育士 防災士 絵本専門士

14 海の豊かさを
守ろう



1月のおすすめ絵本



じしんのえほん こんなときどうするの？

監：[国崎 信江](#)
絵：[福田 岩緒](#)
出版社：[ポプラ社](#)

26年前の1995年1月17日は阪神淡路大震災の発生した日です。いつどこで起きてもおかしくない災害。とっさの時の行動をどれくらい知っていますか？もし、ひとりで歩いている時や公園の遊具で遊んでいる時に地震にあってしまったら？いざという時のためにも、ぜひ理解しておいてほしい内容です。